

2026 年度定時総会



日時： 2026 年 4 月 24 日

場所： 中央大学とオンライン会議のハイブリッド開催

議事：

第 1 号議案 「2025 年度事業報告」の件

第 2 号議案 「2025 年度決算報告および監査報告」の件

第 3 号議案 「2026-2027 年度新役員承認」の件

第 4 号議案 「定款及び役員の報酬等及び費用に関する規
程改訂」の件

報告： 1 2026 年度事業計画

2 2026 年度収支予算

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

公益社団法人
日本オペレーションズ・リサーチ学会

2025年度 事業報告書

事業番号： 公1 (1本のみ)
事業の内容： オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会・シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会・シンポジウム等を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 研究発表会

(1) 春季研究発表会

- ・3月6日, 7日, 成蹊大学
- ・実行委員長：関谷 和之 (成蹊大学)
- ・発表件数 158 件, 参加人数 539 名
- ・アブストラクト集発行
- ・特別講演 1：
「データサイエンス人材育成と OR」
岩崎 学 氏 (統計数理研究所)
- ・特別講演 2：
「逐次最適性条件および多目的降下法に関する研究の新展開」
福田 エレン 秀美 氏 (京都大学)
- ・特別講演 3：
「大規模・不確実な組合せ最適化問題に対する理論とアルゴリズム」
垣村 尚徳 氏 (慶應義塾大学)

(2) 秋季研究発表会

- ・9月11日, 12日, 広島大学
- ・実行委員長：岡村 寛之 (広島大学)
- ・発表件数 129 件, 参加人数 391 名
- ・アブストラクト集発行
- ・特別講演 1：
「デジタル技術で変わる乳牛管理：異分野連携による酪農実装モデル」
杉野 利久 氏 (広島大学酪農エコシステム技術開発センター)
- ・特別講演 2：
「IoT 技術を活用した農業課題への数理最適化アプローチ」
岩尾 忠重 氏 (高知大学農林海洋科学部 IoT 共創センター研究開発部門)

2. シンポジウム

(1) 春季シンポジウム

- ・3月5日, 成蹊大学
- ・実行委員長: 清見 礼 (成蹊大学)
- ・テーマ 「数理最適化の新時代 ―知のエコシステムと次世代の人材育成―」
- ・パネルセッション3件

(2) 秋季シンポジウム

- ・9月10日, 広島大学
- ・実行委員長: 林田 智弘 (広島大学)
- ・テーマ 「未来社会を支えるORとモノづくり」
- ・講演4件

3. ORセミナー

(1) 第1回「金融工学の広がりビジネスへの応用」

- ・5月22日, オンライン開催
- ・コーディネーター: 戸城 正浩 ((株)日本政策金融公庫)
- ・講師: 芝田 隆志 (法政大学), 室町 幸雄 (東京都立大学), 内山 朋規 (東京都立大学), 乾 孝治 (明治大学)
- ・参加者26名

(2) 第2回「物流とOR」

- ・7月19日, 構造計画研究所本所新館とオンラインのハイブリッド開催
- ・コーディネーター: 塚本 潤 (日鉄ソリューションズ(株))
- ・講師: 渡部 大輔 (東京海洋大学), 柴崎 隆一 (東京大学), 和田 祐次郎 (海上技術安全研究所), 大森 峻一 (早稲田大学)
- ・参加者49名

(3) 第3回「Pythonによる最適化」

- ・10月4日, 構造計画研究所本所新館とオンラインのハイブリッド開催
- ・コーディネーター: 神山 直之 (九州大学)
- ・講師: 小林 和博 (青山学院大学)
- ・参加者114名

(4) 第4回「DEA (データ包絡分析法) のツールと利活用の事例」

- ・12月18日, 構造計画研究所本所新館とオンラインのハイブリッド開催
- ・コーディネーター: 高澤 兼二郎 (法政大学)
- ・講師: 杉山 学 (群馬大学), 伊豆永 洋一 (九州大学), 森嶋 武史 (ダイキン工業(株)), 王 緒 (群馬大学), 趙 宇 (東京理科大学)
- ・参加者40名

4. 企業事例交流会

(1) 春季企業事例交流会（第54回）

- ・3月6日，成蹊大学
- ・発表件数6件

(2) 秋季企業事例交流会（第55回）

- ・9月11日，広島大学
- ・発表件数6件

5. 会員ネットワーキング

(1) 第1回「清澄OR研究会」

- ・5月13日，清澄庭園大正記念館
- ・コーディネーター：山田 裕通（(株)構造計画研究所）
- ・講師：小泉 匡秀 氏（東海旅客鉄道(株)），太田 有人 氏（日鉄ソリューションズ(株)），小熊 祐司 氏（(株)IHI）
- ・参加者9名

(2) 第2回「OR事例Lightning Talk会」

- ・7月11日，構造計画研究所本所新館
- ・コーディネーター：山田 裕通（(株)構造計画研究所）
- ・講師：川上 孝介 氏（(株)博報堂テクノロジーズ）
- ・参加者14名

(3) 第3回「スポーツとOR～秋の集い～」

- ・11月28日，東京理科大学葛飾キャンパス
- ・コーディネーター：戸城 正浩（(株)日本政策金融公庫）
- ・講師：後藤 允 氏（東京理科大学）
- ・参加者23名

【機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌・論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 機関誌

機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号
2025年3月1日	70	3
2025年4月1日	70	4
2025年5月1日	70	5
2025年6月1日	70	6
2025年7月1日	70	7
2025年8月1日	70	8
2025年9月1日	70	9
2025年10月1日	70	10
2025年11月1日	70	11
2025年12月1日	70	12
2026年1月1日	71	1
2026年2月1日	71	2

2. 論文誌

論文誌（Journal of the Operations Research Society of Japan: JORSJ），和文論文誌（Transactions of the Operations Research Society of Japan: TORSJ）を下記のとおり発行した。

発行年月	巻	号
2025年4月	68	2
2025年7月	68	3
2025年10月	68	4
2025年12月 (TORSJ)	68	
2026年1月	69	1

なお、論文誌はインターネット上で無料公開している。

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。調査研究にあたっては、専門の研究部会を組成し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行っている。

	常設部会	主査, 幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内容	場所
1	待ち行列	主査 増山博之 (東京都立大学) 幹事 佐久間大 (防衛大学校), 小林正弘 (東海大学)	30名	6回 (1回)	計6回の部会を開催し、発表内容は、待ち行列、情報通信ネットワーク、生産システムなど多岐にわたっている。このうち1回はIMI共同利用のもと、九州大学マス・フォア・インダストリ研究所を主催とし、確率系研究部会「待ち行列」、「確率最適化とその応用」、「信頼性の理論と応用」ならびにマス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラム 共催で「応用確率シンポジウム」を開催し、その中で合同部会を実施した。	東海大学 品川キャンパス&オンライン
2	数理計画 (RAMP)	主査 田村明久 (慶應義塾大学) 幹事 田中未来 (統計数理研究所)	35名	1回	10月16日と17日に九州大学西新プラザにて、4セッション構成で開催しました。テーマは「連続最適化の新潮流」、「産業界で活用されるOR技術」、「拡がる離散最適化」、「ORと機械学習」です。各分野の第一線でご活躍の方々にご講演いただきました。	九州大学西 新プラザ： 対面開催
3	評価のOR	主査 伊豆永洋一 (九州大学) 幹事 王緒 (群馬大学)	8名	4回	評価のOR研究部会では、データ包絡分析法(DEA)、階層分析法(AHP)、ゲーム理論、データ解析など広く評価に関わるOR的手法をテーマとし、その理論と応用に関する議論を行います。 定例研究会では毎回2名の講演者を招き、DEAやその他評価に関連した分析手法やその応用研究について講演を行った。	早稲田大学 西早稲田キャンパス
4	意思決定法	主査 法雲俊栄 (同志社大学) 幹事 飯田洋市 (公立諏訪東京理科大学)	6名	4回	2025年度は、計4回の研究部会を開催した。内容は主にAHP(階層型意思決定手法)や意思決定の全般に関する研究発表・議論の場を提供した。また2025年3月開催のOR学会研究発表会では、意思決定常設部会で特別セッションを企画・実施した。2026年1月に開催を計画していた学生発表大会は、期日にな	オンライン

					っても申込者が無かったため中止とした。研究会には、延べ52名の参加者があった。	
5	サプライチェーン戦略	主査 伊倉義郎 (株式会社サイテック・ジャパン) 幹事 草刈君子 (フリーランス)	15名	5回	企業の経営戦略・運用戦略・戦略プロセスはサプライチェーンを軸に実施される。ここで適用するOR手法について事例と理論両面からの研究を行う。今年度は物流に関するDXの現状、OR手法適応の可能性について議論を行った。	(株)構造計画研究所

	研究部会	主査, 幹事	メンバー	開催(うち合同)	内容	場所
1	ヘルスケアのOR	主査 土谷隆(政策研究大学院大学) 幹事 伊藤真理(神戸大学), 小笠原悠(東京都立大学)	151名	5回	OR研究者と医療・ヘルスケアの現場にいる研究者が交流を重ね、我が国の課題に応えるORの新たな応用分野の開拓,そして、討論や関連学会での共同研究発表を通じたOR研究の普及を行った。	政策研究大学院大学, 神戸大学
2	確率最適化とその応用	主査 堀口正之(神奈川大学) 幹事 王琦(長崎総合科学大学)	15名	5回(2回)	今年も多種多様なテーマの研究結果発表と研究討議に積極的でした。恒例の合同部会をはじめ新たに統計的因果推論や非線形回帰推定の諸問題,ゲーム理論における最新の研究などのご講演もございました。	上智大学, 神奈川大学, 長崎総合科学大学
3	信頼性の理論と応用	主査 水谷聡志(愛知工業大学) 幹事 岡村寛之(広島大学), 今泉充啓(愛知学泉大学), 木村充位(愛知大学)	28名	6回(2回)	信頼性理論の研究を中心に、品質管理, 組合せ最適化, ソフトウェア開発などに関連する研究者に依頼し, 講演会を現地参加とオンラインのハイブリッド形式で実施した。 合同開催として, 応用確率シンポジウム~Society 5.0の基盤となる確率モデル(開催日: 2026年1月21日(水)~2026年1月23日(金))に参加した。また, 中国・四国支部シンポジウム(開催日: 2026年2月20日(金))に参加し, 学生発表会を実施した。	愛知大学・名古屋キャンパス, 九州大学・西新プラザ
4	カーボンニュートラルに向けたエネルギーとOR	主査 進士誉夫(ベスタス・ジャパン株式会社) 幹事 池上貴志(東京農工大学)	40名	2回	新たなエネルギーシステムの実現に向けて, ORの各種手法の適用方法や, 必要となる新たな方法論を議論・検討することで, ORを活用したエネルギー分野の研究を推進し, ま	東京農工大学小金井キャンパス, 構造計画研究所

					た、実務に活用されることを目指す。	
5	ビッグデータを用いたマーケティング分析研究部会	主査 横山暁 (青山学院大学) 幹事 朝日弓未 (東京理科大学), 大竹恒平 (上智大学)	10名	4回	本年度は35店舗の書店での書籍・雑誌の販売データを利用した「データ解析コンペティション」のOR学会部門(予選会)を開催した。11チームのエントリー、延べ100人程度の参加者があり、12月初旬に中間発表会2回、2月末に最終発表会2回をいずれもハイフレックス形式にて開催した。 データは複数の本屋の販売履歴のデータで、主に配本推定や来店客予測といった分析を中心について取り組み、発表会を通して成果を報告するとともに、議論を行った。 本部会として、筑波大学の高野先生を代表とするチーム、キヤノン ITソリューションズの宮内氏を代表とするチーム、および学部生中心のチームとして慶應義塾大学の田中健一先生を代表とするチームを表彰した。	青山学院大学青山キャンパス (+オンライン)
6	最適化の理論とアルゴリズム	主査 林俊介 (法政大学) 幹事 藤井海斗 (国立情報学研究所)	7名	5回	4回の定例会にて計8件の講演を開催し、延べ287名(登録者数の合計)が参加した。また、5月に筑波大学春日講堂にて学生の研究発表会を開催し、137名が参加した。	国立情報学研究所(学術総合センター)
7	社会と技術・システムのイノベーション	主査 高嶋隆太 (東京理科大学) 幹事 鳥海重喜 (中央大学), 稲川敬介 (秋田県立大学)	21名	5回	イノベーションの形成の理論的展開を目指しつつ、社会の諸問題をORの視点から議論するための研究会を5回開催した。特に、地域、都市におけるイノベーションに着目し、社会全体に波及する研究の発展に寄与した。	東京理科大学, 中央大学, オンライン
8	社会安全とOR	主査 佐久間大 (防衛大学校) 幹事 鵜飼孝盛 (防衛大学校)	6名	5回 (1回)	社会安全に関する、海上警備や海上での捜索活動といった活動の効率化を指向した数理モデル分析や、サイバー・ネットワーク空間での異常検知といった話題とともに、防御・強化の対象を評価するための基礎となる再帰的重要度指標に関する研究や、スケジューリングに関して議論した。	政策研究大学院大学
9	歩行からみた空間設計とOR	主査: 田中健一 (慶應義塾大学) 幹事: 長谷川大輔 (東京大学)	9名	5回	現在、都市計画の分野では「歩行者に優しい」まちづくりが注目されている。本部会では、数理的アプローチにより、歩行者の視点に立った都市・建築空間の評価・設計について、理論的および実証的な観点から追究する。	中央大学後楽園キャンパス, 東京大学本郷キャンパス

	研究グループ	主査, 幹事	メンバー	開催	内容	場所
1	未来都市のOR	主査 三浦英俊 (南山大学) 幹事 欧阳君顔 (麗澤大学)	19名	3回	未来都市の諸問題についてメンバーやゲストによる研究発表とその後の議論等を通じて, 分析・手法などの理論面の深化を図り, さらに広くオペレーションズ・リサーチに適用可能な理論や数理モデルの開発に取り組んだ. また, 施設配置, 交通, 環境, 防災, 観光, 経済等の多種多様な未来都市に関する問題を解決するための実践的側面についても研究を深めた.	東京大学, 筑波大学, 慶應義塾大学

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 春季表彰

- (1) 第10回近藤賞
 - ▷ 該当者なし
- (2) 第26回業績賞
 - ▷ 土谷 隆 (政策研究大学院大学)
- (3) 第50回普及賞
 - ▷ 住田 潮 (筑波大学名誉教授)
 - ▷ 牧本 直樹 (筑波大学)
- (4) 第49回実施賞
 - ▷ 東邦ガス株式会社
 - ▷ ヤマト運輸株式会社

2. 秋季表彰

- (1) 第15回研究賞
 - ▷ 小野 廣隆 (名古屋大学)
 - ▷ 寒野 善博 (東京大学)
- (2) 第15回研究賞奨励賞
 - ▷ 馬原 凌河 (東京大学)
 - ▷ 丸茂 直貴 (東京大学)
- (3) 第45回事例研究賞
 - ▷ 小熊 祐司 (株式会社 IHI) , 松本 拓哉 (株式会社 IHI) , 倉田 優志 (株式会社 IHI 物流産業システム)
 - ▷ 田口 東 (株式会社ベクトル総研) , 柿崎 陽 (株式会社ベクトル総研)
 - ▷ 株式会社日立製作所 (研究代表: 瀬戸 明嶺, 細田 順子)
 - ▷ 株式会社博報堂テクノロジーズ (研究代表: 川上 孝介, 石塚 湖太) , 馬嶋 海斗 (東京科学大学) , 中田 和秀 (東京科学大学)
- (4) 第15回論文賞
 - ▷ 西村 結希 (京都大学) , 福田 エレン 秀美 (京都大学) , 山下 信雄 (京都大学)
- (5) 第43回学生論文賞
 - ▷ 野口 貴志 (京都大学 修論)
 - ▷ 佐藤 尚樹 (明治大学 修論)
 - ▷ 横山 健 (九州大学 修論)
 - ▷ 上島 智哉 (東京大学 修論)
 - ▷ 倉下 陽 (東京科学大学 修論)

【支部活動】

1. 北海道支部

活動	年月日	場所	内容
令和7年度支部総会および運営委員会	2025/04/17	小樽商科大学 札幌サテライト 小講義室	(1) 令和6年度事業報告 (2) 令和6年度収支決算報告ならびに監査報告 (3) 令和7年度役員(案) (4) 令和7年度事業計画(案) (5) 令和7年度予算(案) (6) その他
2025年北海道支部研究会・第2回支部運営委員会	2025/06/27	小樽商科大学 札幌サテライト 小講義室	講演1: Rusudan Kevkhashvili (北海道大学経済学研究院) 「ファイナンス工学の手法を用いた流動性リスク・信用リスクの分析」 講演2: 大城泰平 (北海道大学化学反応創生研究拠点) 「離散凸解析に基づく予測付き離散最適化手法」 運営委員会議題: 支部運営事業について
2025年北海道支部研究会・サマースクール	2025/08/06- 2025/08/07	根室市総合文化 会館 第二講座 室	研究会講演 4件 サマースクール講演 3件
Winter Workshop on Operations Research, Finance and Mathematics, 2026	2026/02/19- 2026/02/23	朝里川温泉ホテル	招待講演 8件 一般講演 19件 共催: 東京都立大学

2. 東北支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2025/3/26	オンライン	2024年度事業報告, 2024年度決算, 2025年度事業計画についてなど
会議	2025/3/26	オンライン	支部事業(東北ORセミナー若手研究交流会)実施計画について
セミナー	2025/12/6 ~2025/12/7	山形県生涯学習 センター遊学館	東北ORセミナー若手研究交流会 東北地方を中心とした若手研究者の育成と学生会員数の増加を図るための研究発表会. 主として学生に研究発表と人的交流の場を提供し, 個々の大学や研究室を超えた地域全体での若手研究者育成, および研究者同士の共同研究も視野に入れて東北地方の包括的な研究活性化を目的としている. 今年度は, 2025年12月6日(土)~2025年12月7日(日)に對面で開催した. 29名(うち学生19名)の参加者を集めて, 盛況のうちに無事終了することができた. 本研究交流会では優秀な発表を行った若干名の学生に対して学生優秀発表賞を授与しており, 本年度は2名が選出された. 詳細は下記サイト参照. https://orsj.org/tohoku/seminar/tors2025/
講演会	2025/12/7	山形県生涯学習 センター遊学館	特別講演: 田中環(新潟大学) 「凸性の概念は線形性と非線形性の橋渡し」 (上記セミナーの一部として実施)

3. 中部支部

活動	年月日	場所	内容
第1回幹事会	2025年3月1日	南山大学・Zoomミーティング	2025年度総会における議案について討議した。
運営委員会	2025年3月1日	南山大学・Zoomミーティング	2025年度総会における議案について討議した。
総会	2025年3月1日	南山大学・Zoomミーティング	以下の議案について審議を行った。 (1) 2024年度事業報告 (2) 2024年度決算報告 (3) 謝金の上限変更について (4) 2025年度役員選出 (5) 2025年度事業計画 (6) 2025年度予算 (7) 2024年秋季研究発表会・シンポジウム実施報告 (8) 理事会報告
第52回支部研究発表会および特別講演	2025年3月1日	南山大学・Zoomミーティング	研究発表会の発表タイトル及び講演者は以下の通り。 巨大グラフにおける1メディアン問題の近似解法 植田佳佑(静岡大学), 呉偉(静岡大学) 交差点拡大ネットワークを用いた信号制御最適化モデル 古屋宗磨(南山大学), 小市俊悟(南山大学), 岩岡浩一郎(金沢学院大学), 佐々木美裕(南山大学) コミュニティバスの最適巡回路—刈谷市を例として— 伊藤俊輔(南山大学), 佐々木美裕(南山大学) 鳥羽市営定期船に関する利用者利便性を考慮した運航効率最適化に関する研究 近藤克(鳥羽商船高等専門学校), 脇坂賢(鳥羽商船高等専門学校) ラベル付き木に対する極大頻出誘導部分木マイニングの計算複雑性 甲本健太(名古屋大学), 栗田和宏(名古屋大学), 小野廣隆(名古屋大学) 類似インスタンス解を活用したTSPアルゴリズムの高速化 坂口雄大(名古屋大学), 小野廣隆(名古屋大学) 最小フィードバック点集合の解一意化の計算量 長倉来夢(名古屋大学), 小野廣隆(名古屋大学) オンライン設定におけるヘドニック席配置問題 日比野峻士(名古屋大学), 小野廣隆(名古屋大学), 土中哲秀(九州大学) サイズ制約付きハイパーグラフ分割問題の固定パラメータ容易アルゴリズム 山田秀流(九州大学), 土中哲秀(九州大学), 小野廣隆(名古屋大学), 吉渡叶(名古屋大学)

			<p>市場顧客の購買行動にもとづく製品情報の最適開示政策 櫻井航(名古屋工業大学), 中出康一(名古屋工業大学)</p> <p>企業間取引を行う会社の在庫最適化 福地かんな(南山大学), 三浦英俊(南山大学)</p> <p>食品工場における製品の出荷予測と最適生産計画の立案 竹川ののか(南山大学), 鈴木敦夫(南山大学)</p> <p>また, 特別講演は片桐英樹氏(神奈川大学)「最適化技術で進化する給食献立作成と大学発ベンチャーによる事業化」であった.</p>
支部 SSOR	2025 年 8 月 25 日~26 日	休暇村 能登千里浜	<p>2025 年 8 月 25 日(月) 組み合わせ最適化のための多様性ビーム探索 李鵬月(静岡大学創造科学技術大学院), 呉偉(静岡大学)</p> <p>区間ナップサック問題に対する最大後悔最小化アルゴリズム 岡田俊亮(名古屋大学大学院情報学研究科), 小野廣隆(名古屋大学)</p> <p>時空間ネットワークを用いた名古屋市営地下鉄の運行ダイヤ最適化 藤井司(南山大学大学院理工学研究科), 小市俊悟(南山大学)</p> <p>チュートリアル: レンタルパレット事業における輸送ネットワーク最適化の取り組み 検崎朴郎氏(日本パレットレンタル株式会社), 寺島伸男氏(コクヨ株式会社)</p> <p>情報交換・交流会</p> <p>2025 年 8 月 26 日(火) 最小フィードバック点集合解一意化問題の FPT アルゴリズム 長倉 来夢(名古屋大学大学院情報学研究科 M1), 小野 廣隆(名古屋大学)</p> <p>(co-claw, odd-hole)-free グラフに対するクリーク彩色問題 浜田 俊祐(名古屋大学大学院情報学研究科 M1), 小野 廣隆(名古屋大学)</p> <p>階層クラスタリングを用いた音声データの話者分類手法の検討 若原 和寿(南山大学大学院理工学研究科 M2), 小市 俊悟(南山大学)</p>
支部シンポジウム	2025 年 12 月 6 日	愛知大学	<p>テーマ「最適化・統計モデリングによるシステム設計・保全の OR」</p> <p>多状態システムにおける最適配置探索のためのアルゴリズム 中村太信氏(東海大学)</p>

			<p>コンピュータを用いた確率モデリング ～信頼性工学での応用例～ 太田修平氏（神奈川大学）</p> <p>安全性と経済性を両立する保全スケジューリング ～次世代原子炉の設計のために～ 伊藤真理氏（神戸大学）</p>
第2回幹事会	2025年12月6日	愛知大学・Zoom ミーティング	<p>以下の議題は以下の通り</p> <p>審議事項</p> <p>(1) 2026年3月「幹事会・運営委員会・総会・研究発表会・特別講演会・学生表彰式・懇親会」（案）について</p> <p>(2) 第53回日本OR学会中部支部研究発表会（案）について</p> <p>(3) 特別講演会（案）について</p> <p>(4) SSOR（案）について</p> <p>(5) シンポジウム（案）について</p> <p>(6) 支部職務分掌変更（案）について</p> <p>(7) 支部メーリングリスト移行について</p> <p>(8) 学会機関紙での中部特集号企画依頼について</p> <p>(9) 高大連携活動の再検討について</p> <p>(10) その他</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 支部役員について</p> <p>(2) SSORについて</p>
C3P0 セミナー 2025#1	2025年12月23日	名古屋大学	<p>品野勇治氏(Zuse Institute Berlin (ZIB))による講演会を実施した。講演タイトルは「大規模並列混合整数計画ソルバによる、これまでに解けなかった問題を解くことへの挑戦」であった。</p>

4. 関西支部

活動	年月日	場所	内容
支部総会	2025/03/15	中央電気 倶楽部	2024 年度事業報告・決算および 2025 年度事業計画・予算などが承認された。 ・出席者 18 名, 委任状提出 63 名, 計 81 名
記念講演会	2025/03/15	中央電気 倶楽部	・講演者および講演題目： 滝根 哲哉 (大阪大学) 「私の研究歴 ―待ち行列理論とその周辺―」 ・参加者：18 名
第 1 回支部 運営委員会	2025/03/15	中央電気 倶楽部	・出席者 16 名, 委任状提出 6 名, 計 22 名
支部ワーク ショップ	2025/07/05	大阪公立大学 文化交流 センター	・実行委員長：北條 仁志 (大阪公立大学) ・発表件数：6 件 ・参加者：14 名
第 2 回支部 運営委員会	2025/10/31	大阪公立大学文 化交流センター & Zoom	・出席者 21 名, 委任状提出 17 名, 計 38 名
支部若手 研究発表会	2025/12/03	大阪公立大学 文化交流 センター	・実行委員長：山口 勇太郎 (大阪大学) ・発表件数：9 件 ・参加者：21 名
支部 シンポジウム	2025/12/15	大阪公立大学 文化交流 センター & Zoom	・実行委員長：楠木 祥文 (大阪公立大学) ・テーマ：DC 最適化の新展開 ・参加者：27 名 ・講演者および講演題目： 1. 中山 舜民 (東京理科大学) 「DC 正則化付き最適化問題に対する近接写像に基づく 数値計算アルゴリズム」 2. 小野 峻佑 (東京科学大学) 「計測データ解析における近接分離型 DC 最適化の可能性」 3. 趙 成岩 (立命館大学) 「DC 計画による非負システムの最適化」 4. 山田 修司 (新潟大学) 「標準 DC2 次計画問題に対する大域的最適化アルゴリズム について」
第 3 回支部 運営委員会	2026/02/19	中央電気倶楽部 & Zoom	・出席者 20 名, 委任状提出 13 名, 計 33 名

5. 中国・四国支部

活動	年月日	場所	内容
支部総会	2025/3/15	県立広島大学サテライトキャンパス ひろしま	令和6年度支部活動・決算の報告 令和7年度支部役員・活動計画・予算の承認
支部シンポジウム	2026/2/7	Zoom オンライン	海外の研究者2名ならびに国内研究者1名によるソフトウェア工学・AIに関する講演。 講師：Prof. 瀋 迅（東京農工大学 准教授） 講師：Prof. Jiaqi Yin (Northwestern Polytechnical University, China) 講師：Prof. Xiao-Yi Zhang (University of Science and Technology Beijing, China)
支部研究部会	[1]2025/10/24 [2]2025/11/29	[1]Zoom オンライン [2]国民宿舎大城	部会名「プロジェクトマネジメントと確率モデル」 主催講演会：2件（講師2名） [1]講師：長江 剛志（鳥取大学工学部社会システム土木系学科 教授） [2]講師：道山 知成（周南公立大学 助教）
支部研究部会	[1]2025/6/21 [2]2026/1/11	[1] 県立広島大学サテライトキャンパスひろしま [2]Zoom オンライン	部会名「社会課題解決とOR」 主催講演会：2件（講師2名） 講師：今地 大武（広島工業大学情報学部情報工学科 助教） 講師：山中 伸彦（立教大学大学院ビジネスデザイン研究科 教授）
講演会	[1]2025/3/15 [2]2025/12/20 [3]2026/2/20	[1] 県立広島大学サテライトキャンパスひろしま [2] 広島大学東千田未来創生センター [3] 広島大学東広島キャンパス	[1]講師：古 艶磊（広島大学 准教授） [2]講師：谷崎 隆士（近畿大学 教授） [3]講師：山田 健翔（JAXA 研究開発員）

6. 九州支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2025/3/29	ハイブリッド式 ・西新プラザ ・オンライン	2024年度活動報告、2025年度活動計画 参加人数：9名
講演会	2025/3/29	ハイブリッド式 ・西新プラザ ・オンライン	題名：データ活用による地域の価値創造ブランディング 講師：岡 祐輔 (福岡大学) 参加人数：9名
講演会	2025/7/26	ハイブリッド式 ・長崎大学 ・オンライン	題名：シミュレーションベースのネーミングゲーム 講師：北條 仁志 (大阪公立大学) 参加人数：11名
研究会	2025/7/26	ハイブリッド式 ・長崎大学 ・オンライン	題名：可積分差分の応用としての予測 講師：佐藤 大輔 (福岡工業大学) 参加人数：11名
講演会	2025/10/25	現地開催 ・日本文理大学湯布院研修所	題名：組合せ爆発に挑む!- ラムゼーグラフ列挙と詰込み問題の事例から - 講師：越村 三幸 (九州大学) 参加人数：46名
若手交流会	2025/10/25 ~2025/10/26	現地開催 ・日本文理大学湯布院研修所	九州地区における若手OR研究交流会 発表件数：28件 参加人数：46名
講演会	2025/12/6	ハイブリッド式 ・ウェルとばた ・オンライン	題名：推移法則未知の区間型ベイズマルコフ決定過程について 講師：堀口 正之 (神奈川大学) 参加人数：11名
研究会	2025/12/6	ハイブリッド式 ・ウェルとばた ・オンライン	題名： l_1 ノルム最小化に基づく非線形モデリングとその応用の提案 講師：井上 寛 (九州産業大学) 参加人数：11名

【会議】

1. 定時総会

(1) 2025年4月25日（ハイブリッド開催）

◇審議

- | | |
|--------------------------|----|
| 01 「2024年度事業報告」の件 | 承認 |
| 02 「2024年度決算報告および監査報告」の件 | 承認 |
| 03 「2025-2026年度新役員承認」の件 | 承認 |

◇報告

- | | |
|---------------|----|
| 01 2025年度事業計画 | 報告 |
| 02 2025年度収支予算 | 報告 |

2. 理事会

(1) 2025年4月4日（ハイブリッド開催） 《2025年度第1回理事会》

◇審議

- | | |
|------------------------------------|---|
| 01 2024年度第6回理事会議事録確認 | 承認 |
| 02 会員管理の件 | 承認 |
| 03 2025年度定時総会資料の件 | 承認 |
| 01 第1号議案 「2024年度事業報告」の件 | |
| 02 第2号議案 「2024年度決算報告および監査報告」の件 | |
| 03 第3号議案 「2025-2026年度新役員承認」の件 | |
| (04 報告1 2025年度事業計画（参考：承認済） | |
| (05 報告2 2025年度収支予算（参考：承認済） | |
| 04 機関誌記事一編に対する著作物利用許諾締結の件 | 条件付き承認
⇒後日弁護士の確認を受けた許諾契約案で著者と合意が成立した |
| 05 学会公式コンペティションの件 | 方向性承認（組織は継続審議）
⇒組織は第5回理事会の審議-06にて承認された |
| 06 2025年秋季研究発表会・シンポジウム概要と予算案 | 承認 |
| 07 今後のシンポジウム及び研究発表会運営について | 承認 |
| 08 2026年春季研究発表会・シンポジウム計画案 | 承認 |
| 09 庶務幹事推薦依頼・退任報告の件 | 承認 |
| 10 2025年度理事会及び2026年度定時総会日程の件 | 承認 |
| 11 シニア会員の条件修正の件 | 承認 |
| 12 会費会誌取扱い規程整備の件 | 承認 |
| 13 選挙管理委員会規程新設、代議員選出規程改訂及び役員規程改訂の件 | 一部承認
⇒第2回理事会の審議-13にて承認された |

◇報告

- | | |
|---------------------------|----|
| 01 代議員定数定義及び投票方法見直しの件 | 報告 |
| 02 目安箱廃止の件 | 報告 |
| 03 2025年度研究部会・グループ追加補助金申請 | 報告 |

04 2024 年度研究部会・グループ活動報告	報告
05 2025 年度第 2 回 OR セミナー予算の件	報告
06 研究普及委員推薦の件	報告
07 支部役員名簿更新の件	報告
08 機関誌編集委員変更	報告
09 2024 年度後半代表理事執行状況報告	報告
10 規程類管理方法について	報告
11 事務局体制の件	報告
12 臨時理事会及び 2025 年度第 2 回理事会議事予定の件	報告
(2) 2025 年 4 月 25 日 (ハイブリッド開催) 《2025 年度(定時総会直後の)臨時理事会》	
◇審議	
01 副会長選定の件	承認
◇報告	
01 表彰委員会名簿の更新について	報告
02 広報委員の解嘱と推薦について	報告
03 FMES の現状と今後について	報告
04 2025 年度理事会及び 2026 年度定時総会日程の件	報告
05 役員就任に係る注意喚起、情報共有、および期待事項について	報告
06 規程類管理方法について	報告
07 2025 年度第 2 回理事会議事予定と議案提出方法について	報告
(3) 2025 年 5 月 30 日 (ハイブリッド開催) 《2025 年度第 2 回理事会》	
◇審議	
01 2025 年度第 1 回理事会議事録確認の件	承認
02 会員管理の件	承認
03 XServer ファイルマネージャ理事会アカウントの庶務幹事会への共有の件	承認
04 職員就業規程改訂の件	承認
05 ログ規程改定の件	承認
06 予算等研究普及委員会議案の決裁に関する内規改訂の件	承認
07 2025 年春季研究発表会及びシンポジウムの決算について	承認
08 2025 年秋季表彰学会賞 (研究賞・研究賞奨励賞・事例研究賞) 候補の件	承認
09 日本技術者教育認定機構 (JABEE) 退会の件	承認
10 2025 年度対外委員の件	承認
11 支部運営費の配分ルールの変更について	承認
12 2026-2027 年度会長候補者選考委員会設置の件	設置のための委員選出方法も決定
13 選挙管理委員会設置の件	承認
14 代議員定数定義及び投票方法見直しの件	方針を決定
⇒第 3 回理事会の審議-08 にて承認された	

◇報告

01 RAMP 数理最適化シンポジウムの協賛について	報告
02 RAMP 数理最適化シンポジウムの予算報告について	報告
03 第2回 OR セミナー協賛学会の追加の件	報告
04 第3回 OR セミナー予算の件	報告
05 普及細則改廃の件	報告
06 論文誌編集委員の解嘱・委嘱の件	報告
07 2025 年度第3回理事会議事予定の件	報告

(4) 2025 年 7 月 25 日 (ハイブリッド開催) 《2025 年度第 3 回理事会》

◇審議

01 2025 年度臨時理事会議事録 (承認済)	承認
02 2025 年度第 2 回理事会議事録 (案)	承認
03 会員管理の件	承認
04 2025 年秋季表彰学会賞 (論文賞・学生論文賞) 候補の件	承認
05 国際数学者会議誘致のためのサポートレター発出の件	承認
06 2026 年度支部事業費について	承認
07 支部会計取扱規則改訂の件	承認
08 代議員定数定義及び投票方法成案審議の件	承認
09 渉外会務の国際会務への統合について	承認
10 役員候補者不足への対応及び無任所理事の会務定義と選出方法について ⇒第 4 回理事会の審議-08 にて承認された	継続審議
11 会長候補者選考委員の選出について	承認

◇報告

01 2025 年度第 1Q 収支の件	報告
02 2025 年秋大会学生優秀発表賞表彰規程の件	報告
03 2026 年春季大会参加費・予算審議方針の件	報告
04 第 1 回 OR セミナー決算の件	報告
05 第 4 回 OR セミナー予算の件	報告
06 会員ネットワーク企画状況の件	報告
07 渉外細則改訂の件	報告
08 国内渉外新規案件の件	報告
09 2025 年度第 4 回理事会議事予定の件	報告

(5) 2025 年 10 月 24 日 (ハイブリッド開催) 《2025 年度第 4 回理事会》

◇審議

01 会長候補者について (選考報告およびオブザーバー参加審議)	承認
02 2025 年度第 3 回理事会議事録 (案)	承認
03 2026 年春季大会の参加費について	承認
04 3-4-3_研究発表会運営規程の改訂について	承認

05 2026 年度秋季大会実行委員長および開催地の件	承認
06 職員就業規程改訂の件	承認
07 後任事務局長決定までの進め方の件	承認
08 役員候補者不足への対応及び無任所理事の会務定義と選出方法について	承認
09 2026-2027 年度役員候補者選出日程の件	承認
10 会務運営の効率化と継続性向上のための課題管理ツール導入について	承認
11 会員管理の件	承認

◇報告

01 2025 年度前半代表理事職務執行状況報告	報告
02 2025 年度第 2Q 収支の件	報告
03 2026 年度予算作成における次年度変更依頼受付の件	報告
04 2025 年秋季シンポジウムにおける欠席者への対応について	報告
05 2026 年春季大会の予算案と概要について	報告
06 細則 4-4-1 研究発表会運営要綱改訂の件	報告
07 第 2 回 OR セミナー決算の件	報告
08 渉外会務の国際会務への統合に係る名称について	報告
09 2025 年度第 5 回理事会議事予定の件	報告

(6) 2025 年 12 月 19 日 (ハイブリッド開催) 《2025 年度第 5 回理事会》

◇審議

01 2025 年度第 4 回理事会議事録 (案)	承認
02 会員管理の件	承認
03 非常勤職員の採用の件	承認
04 事務局長の定年延長の件	承認
05 事務局職員雇用契約改定の件	承認
06 学会コンペティション企画の件	承認
07 研究部会主催のイベントにおける著作権について	承認
08 他団体の表彰に係る推薦の件	承認
09 研究普及委員会規程の改訂の件	承認
10 IFORS 加盟申請 (Ecuadorian Mathematical Society) への対応	承認
11 学会に対する会員の意見聴取に関する件	承認

◇報告

01 2026~2027 年度役員選挙の件	報告
02 2025 年度第 3Q 収支の件	報告
03 2026 年度収支予算一次集計結果の件	報告
04 大会における非会員参加者への年会費特典検討について	報告
05 2025 年秋季研究発表会及びシンポジウムの決算について	報告
06 2026 年度支部事業費について	報告
07 2026 年度普及関連事業の件	報告

08 会員ネットワーキング企画委員会細則改訂の件	報告
09 2025 年度第 6 回理事会議事予定の件	報告
(7) 2026 年 1 月 30 日 (ハイブリッド開催) 《2025 年度第 6 回理事会》	
◇審議	
01 2025 年度第 5 回理事会議事録 (案)	承認
02 会員管理の件	承認
03 2026 年度支部運営費の件	承認
04 第 27 回業績賞候補者推薦の件	承認
05 2026 年春季表彰学会賞 (実施賞・普及賞) 候補の件	承認
06 2026 年度フェロー候補者推薦の件	承認
07 2026 年度研究部会・グループの新設継続申請について	承認
08 内閣府への届け出の件	条件付き承認
⇒収支予算書における退職金の取扱いが確認され承認された	
09 法律改正に伴う定款細則 2-1-3 改訂の総会への提起、他 1 件改訂の件	承認
10 法律改正に伴う外部監事推薦の件	承認
◇報告	
01 会長候補者および代議員候補者信任投票の件	報告
02 学会員への意見聴取アンケート実施について (経過報告)	報告
03 研究部会・グループ追加補助金の募集について	報告
04 春・秋大会における研究賞受賞講演について	報告
05 大会運営システム導入の継続検討について	報告
06 2025 年度会員ネットワーキング決算の件	報告
07 新年度委員選任依頼の件	報告
08 2026 年度第 1 回理事会議事予定の件	報告

【役員】

理事（非常勤）

定数：12人から18人（現在：17人）

任期：2年

監事（非常勤）

定数：2人（現在：2人）

任期：2年

2025年度末現在

理事・監事の役職	氏名	常勤非常勤の別	就任年月日	担当職務	報酬	現職
理事（会長）	山上 伸	非常勤	2022.4.26	会務の総理	なし	東京ガス株式会社
理事（副会長）	猿渡 康文	非常勤	2022.4.26	会務の総理	なし	筑波大学
理事（副会長）	渡辺 隆裕	非常勤	2025.4.25	会務の総理	なし	東京都立大学
理事（副会長）	米沢 隆	非常勤	2025.4.25	会務の総理	なし	日本アイ・ビー・エム株式会社
理事（庶務）	黒木 裕介	非常勤	2024.4.26	庶務	なし	ヤマト運輸株式会社
理事（庶務）	宮代 隆平	非常勤	2025.4.25	庶務	なし	東京農工大学
理事（国際）	八木 恭子	非常勤	2025.4.25	国際	なし	東京都立大学
理事（研究普及）	山田 裕通	非常勤	2024.4.26	普及	なし	株式会社構造計画研究所
理事（研究普及）	成島 康史	非常勤	2025.4.25	研究	なし	慶應義塾大学
理事（編集）	牧野 和久	非常勤	2022.4.26	論文誌編集	なし	京都大学
理事（編集）	廣津 信義	非常勤	2025.4.25	機関誌編集	なし	順天堂大学
理事（会計）	塩野 直志	非常勤	2022.4.26	会計	なし	専修大学
理事（渉外）	塩田 茂雄	非常勤	2024.4.26	渉外	なし	千葉大学
理事（広報）	田中 未来	非常勤	2024.4.26	広報	なし	統計数理研究所
理事（支部）	笠原 正治	非常勤	2025.4.25	支部	なし	奈良先端科学技術大学院大学
理事（大会）	岡村 寛之	非常勤	2024.4.26	大会	なし	広島大学
理事（大会）	山下 信雄	非常勤	2025.4.25	大会	なし	京都大学
監事	河東 晴子	非常勤	2024.4.26	定款 23 条	なし	三菱電機株式会社
監事	今堀 慎治	非常勤	2025.4.25	定款 23 条	なし	中央大学

【職員】

2025年度末現在

職名	常勤・非常勤	採用年月日	担当事務	備考
事務局 長	非常勤	2022.3.1	総括・庶務・渉外	
職員	非常勤	2022.12.23	経理・学会事務全般	
職員	パート	2025.3.1	会員管理・学会事務	

【会員状況】

1. 2025 年度通算 (2025. 3. 1～2026. 2. 28)

	名誉 会員	正会員		学生会員	賛助会員		合計
		一般	シニア・ 特別		A種	B種	
2025. 2. 28	12	1,267	64	197	43	21	1,604
入会		41		61	8	2	112
退会		▲ 89	▲ 4	▲ 25	▲ 1		▲ 119
区分変更	学→正	78		▲ 78			0
	正→学	▲ 3		3			0
	正→シ						0
	正→名						0
	B種→A種				1	▲ 1	0
今期間増減	0	27	▲ 4	▲ 39	8	1	▲ 7
2026. 2. 28 現在	12	1,294	60	158	51	22	1,597

年月日	合計	前年比
2025. 2. 28	1,604	▲ 19
2024. 2. 29	1,623	1
2023. 2. 28	1,622	16
2022. 2. 28	1,606	▲ 110
2021. 2. 28	1,716	▲ 96
2020. 2. 29	1,812	▲ 72
2019. 2. 28	1,884	▲ 24
2018. 2. 28	1,908	▲ 50
2017. 2. 28	1,958	▲ 15
2016. 2. 29	1,973	▲ 67
2015. 2. 28	2,040	▲ 45
2014. 2. 28	2,085	29

2. 支部別会員数(2026. 2. 28 現在)

支部	名誉 会員	正会員		学生会員	賛助会員		合計
		一般	シニア・ 特別		A種	B種	
北海道		29	1				30
東北		42	1	7			50
中部		104	10	8	3	1	126
関西	2	174	9	15	5	1	206
中国・四国		59	5	5			69
九州		55	5	16			76
本部	10	831	29	107	43	20	1,040
2026. 2. 28 現在	12	1,294	60	158	51	22	1,597

2025年度決算報告および監査報告

貸借対照表

令和 8年 2月28日現在

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	22,864,009	24,319,467	△ 1,455,458
未収会費	3,484,800	2,015,800	1,469,000
未収金	617,727	600,432	17,295
前払金	240,224	235,224	5,000
前払費用	431,701	74,281	357,420
預け金	4,153,300	3,789,000	364,300
流動資産合計	31,791,761	31,034,204	757,557
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	1,324,400	672,000	652,400
名簿作成準備積立金資産	500,000	500,000	0
国際協力積立金資産	15,000,000	15,000,000	0
表彰事業積立金資産	4,200,000	4,200,000	0
〇A化積立金資産	7,070,000	7,070,000	0
〇R事典積立金資産	4,000,000	4,000,000	0
近藤賞基金引当資産	7,000,000	7,000,000	0
公益事業充当資産	20,000,000	20,000,000	0
支部活動準備資産	13,500,000	13,500,000	0
企業事例交流会開催準備資産	4,000,000	4,000,000	0
リース資産	1,309,572	1,797,609	△ 488,037
ホームページ改修費用準備資産	3,810,000	1,310,000	2,500,000
特定資産合計	81,713,972	79,049,609	2,664,363
(2) その他固定資産			
保証金	950,400	950,400	0
その他固定資産合計	950,400	950,400	0
固定資産合計	82,664,372	80,000,009	2,664,363
資産合計	114,456,133	111,034,213	3,421,920
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	286,663	93,876	192,787
未払費用	505,016	232,312	272,704
前受金	4,885,919	4,268,097	617,822
前受会費	14,230,900	14,640,000	△ 409,100
預り金	213,815	61,542	152,273
未払消費税等	537,100	446,700	90,400
流動負債合計	20,659,413	19,742,527	916,886
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,324,400	672,000	652,400
リース債務	1,617,159	2,207,739	△ 590,580
固定負債合計	2,941,559	2,879,739	61,820
負債合計	23,600,972	22,622,266	978,706
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	85,855,161	83,411,947	2,443,214
(うち特定資産への充当額)	(75,389,572)	(73,377,609)	(2,011,963)
正味財産合計	90,855,161	88,411,947	2,443,214
負債及び正味財産合計	114,456,133	111,034,213	3,421,920

正味財産増減計算書

令和 7年 3月 1日から令和 8年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	69,632	1,493	68,139
特定資産受取利息	69,632	1,493	68,139
受取入会金	95,400	111,900	△ 16,500
受取正会員入会金収入	57,000	73,500	△ 16,500
受取学生会員入会金収入	38,400	38,400	0
受取会費	27,268,800	26,223,000	1,045,800
正会員受取会費収入	19,353,600	18,950,400	403,200
学生会員受取会費収入	910,000	1,060,000	△ 150,000
賛助会員受取会費収入	6,566,000	5,759,000	807,000
シニア会員受取会費収入	439,200	453,600	△ 14,400
事業収益	17,514,103	16,600,048	914,055
受取販売収益	1,879,694	2,257,904	△ 378,210
受取研究発表参加収入	5,007,000	4,359,000	648,000
受取参加料	5,897,000	6,028,900	△ 131,900
受取広告料	3,661,900	3,111,700	550,200
受取掲載料	275,000	101,000	174,000
受取著作権料	150,909	129,544	21,365
受取購読料	642,600	612,000	30,600
受取補助金等	0	1,405,728	△ 1,405,728
受取寄付金	752,564	0	752,564
受取寄付金	752,564	0	752,564
雑収益	87,688	112,082	△ 24,394
受取利息	38,053	8,882	29,171
雑収益	49,635	103,200	△ 53,565
経常収益計	45,788,187	44,454,251	1,333,936
(2) 経常費用			
事業費	39,592,330	39,457,998	134,332
給与手当	5,837,096	5,761,553	75,543
賞与	1,911,240	1,911,240	0
臨時雇賃金	888,060	553,200	334,860
法定福利費	1,212,138	1,175,775	36,363
旅費交通費	1,980,438	2,211,001	△ 230,563
通信運搬費	1,010,623	1,005,192	5,431
退職給付費用	587,160	201,600	385,560
消耗品費	801,750	1,032,817	△ 231,067
会議費	4,890,612	5,448,581	△ 557,969
印刷製本費	6,728,153	6,571,128	157,025
広告宣伝費	13,715	15,825	△ 2,110
賃借料	2,540,424	2,760,514	△ 220,090
保険料	26,454	14,670	11,784
租税公課	537,100	446,700	90,400
支払負担金	257,193	263,076	△ 5,883
諸謝金	3,482,893	3,779,796	△ 296,903
委託費	2,667,940	2,612,335	55,605
支払手数料	3,548,817	2,831,186	717,631
減価償却費	439,234	443,449	△ 4,215
貸倒損失	219,520	399,360	△ 179,840
雑費	11,770	19,000	△ 7,230
管理費	3,752,643	4,141,103	△ 388,460
給与手当	648,560	640,167	8,393
賞与	212,360	212,360	0
法定福利費	134,675	130,640	4,035
旅費交通費	494,138	717,664	△ 223,526
通信運搬費	43,946	53,634	△ 9,688
退職給付費用	65,240	22,400	42,840
消耗品費	16,802	32,105	△ 15,303
会議費	34,515	3,765	30,750
賃借料	282,264	289,229	△ 6,965
保険料	1,698	1,630	68
租税公課	2,500	3,200	△ 700
水道光熱費	203,784	202,922	862
支払手数料	234,078	158,076	76,002
支払報酬料	937,000	869,000	68,000
諸会費	50,000	150,000	△ 100,000
減価償却費	48,803	49,271	△ 468
貸倒損失	329,280	599,040	△ 269,760
雑費	13,000	6,000	7,000
経常費用計	43,344,973	43,599,101	△ 254,128
評価損益等調整前当期経常増減額	2,443,214	855,150	1,588,064
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,443,214	855,150	1,588,064
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
リース資産除却損	0	245,600	△ 245,600
経常外費用計	0	245,600	△ 245,600
当期経常外増減額	0	△ 245,600	245,600
当期一般正味財産増減額	2,443,214	609,550	1,833,664
一般正味財産期首残高	83,411,947	82,802,397	609,550
一般正味財産期末残高	85,855,161	83,411,947	2,443,214
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	90,855,161	88,411,947	2,443,214

正味財産増減計算書内訳表

令和 7年 3月 1日から令和 8年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1				
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	69,069	563		0	69,632
特定資産受取利息	69,069	563		0	69,632
受取入金	61,200	34,200		0	95,400
受取正会員入金収入	22,800	34,200		0	57,000
受取学生会員入金収入	38,400	0		0	38,400
受取会費	23,632,173	3,636,627		0	27,268,800
正会員受取会費収入	15,716,973	3,636,627		0	19,353,600
学生会員受取会費収入	910,000	0		0	910,000
賛助会員受取会費収入	6,566,000	0		0	6,566,000
シニア会員受取会費収入	439,200	0		0	439,200
事業収益	17,514,103	0		0	17,514,103
受取販売収益	1,879,694	0		0	1,879,694
受取研究発表参加収入	5,007,000	0		0	5,007,000
受取参加料	5,897,000	0		0	5,897,000
受取広告料	3,661,900	0		0	3,661,900
受取掲載料	275,000	0		0	275,000
受取著作権料	150,909	0		0	150,909
受取購読料	642,600	0		0	642,600
受取寄付金	752,564	0		0	752,564
受取寄付金	752,564	0		0	752,564
雑収益	6,435	81,253		0	87,688
受取利息	0	38,053		0	38,053
雑収益	6,435	43,200		0	49,635
経常収益計	42,035,544	3,752,643		0	45,788,187
(2) 経常費用					
事業費	39,592,330	0		0	39,592,330
給与手当	5,837,096	0		0	5,837,096
賞与	1,911,240	0		0	1,911,240
臨時雇賃金	888,060	0		0	888,060
法定福利費	1,212,138	0		0	1,212,138
旅費交通費	1,980,438	0		0	1,980,438
通信運搬費	1,010,623	0		0	1,010,623
退職給付費用	587,160	0		0	587,160
消耗品費	801,750	0		0	801,750
会議費	4,890,612	0		0	4,890,612
印刷製本費	6,728,153	0		0	6,728,153
広告宣伝費	13,715	0		0	13,715
賃借料	2,540,424	0		0	2,540,424
保険料	26,454	0		0	26,454
租税公課	537,100	0		0	537,100
支払負担金	257,193	0		0	257,193
諸謝金	3,482,893	0		0	3,482,893
委託費	2,667,940	0		0	2,667,940
支払手数料	3,548,817	0		0	3,548,817
減価償却費	439,234	0		0	439,234
貸倒損失	219,520	0		0	219,520
雑費	11,770	0		0	11,770
管理費	0	3,752,643		0	3,752,643
給与手当	0	648,560		0	648,560
賞与	0	212,360		0	212,360
法定福利費	0	134,675		0	134,675
旅費交通費	0	494,138		0	494,138
通信運搬費	0	43,946		0	43,946
退職給付費用	0	65,240		0	65,240
消耗品費	0	16,802		0	16,802
会議費	0	34,515		0	34,515
賃借料	0	282,264		0	282,264
保険料	0	1,698		0	1,698
租税公課	0	2,500		0	2,500
水道光熱費	0	203,784		0	203,784
支払手数料	0	234,078		0	234,078
支払報酬料	0	937,000		0	937,000
諸会費	0	50,000		0	50,000
減価償却費	0	48,803		0	48,803
貸倒損失	0	329,280		0	329,280
雑費	0	13,000		0	13,000
経常費用計	39,592,330	3,752,643		0	43,344,973
評価損益等調整前当期経常増減額	2,443,214	0		0	2,443,214
評価損益等計	0	0		0	0
当期経常増減額	2,443,214	0		0	2,443,214
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0		0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0		0	0
当期経常外増減額	0	0		0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	2,443,214	0		0	2,443,214
当期一般正味財産増減額	2,443,214	0		0	2,443,214
一般正味財産期首残高	7,279,017	76,132,930		0	83,411,947
一般正味財産期末残高	9,722,231	76,132,930		0	85,855,161
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0		0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	0		0	5,000,000
指定正味財産期末残高	5,000,000	0		0	5,000,000
III 正味財産期末残高	14,722,231	76,132,930		0	90,855,161

財務諸表に対する注記

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
リース資産・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用している。
- (2) 引当金の計上基準
退職給付引当金
職員の退職金支給に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	672,000	652,400	0	1,324,400
名簿作成準備積立金資産	500,000	0	0	500,000
国際協力積立金資産	15,000,000	0	0	15,000,000
表彰事業積立金資産	4,200,000	0	0	4,200,000
〇A化積立金資産	7,070,000	0	0	7,070,000
〇R事典積立金資産	4,000,000	0	0	4,000,000
近藤賞基金引当資産	7,000,000	0	0	7,000,000
公益事業充当資産	20,000,000	0	0	20,000,000
支部活動準備資産	13,500,000	0	0	13,500,000
企業事例交流会開催準備資産	4,000,000	0	0	4,000,000
リース資産	1,797,609	0	488,037	1,309,572
ホームページ改修費用準備資産	1,310,000	2,500,000	0	3,810,000
小 計	79,049,609	3,152,400	488,037	81,713,972
合 計	79,049,609	3,152,400	488,037	81,713,972

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	1,324,400	(0)	(0)	(1,324,400)
名簿作成準備積立金資産	500,000	(0)	(500,000)	(0)
国際協力積立金資産	15,000,000	(0)	(15,000,000)	(0)
表彰事業積立金資産	4,200,000	(0)	(4,200,000)	(0)
〇A化積立金資産	7,070,000	(0)	(7,070,000)	(0)
〇R事典積立金資産	4,000,000	(0)	(4,000,000)	(0)
近藤賞基金引当資産	7,000,000	(0)	(7,000,000)	(0)
公益事業充当資産	20,000,000	(5,000,000)	(15,000,000)	(0)
支部活動準備資産	13,500,000	(0)	(13,500,000)	(0)
企業事例交流会開催準備資産	4,000,000	(0)	(4,000,000)	(0)
リース資産	1,309,572	(0)	(1,309,572)	(0)
ホームページ改修費用準備資産	3,810,000	(0)	(3,810,000)	(0)
小 計	81,713,972	(5,000,000)	(75,389,572)	(1,324,400)
合 計	81,713,972	(5,000,000)	(75,389,572)	(1,324,400)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	2,575,992	1,266,420	1,309,572
合 計	2,575,992	1,266,420	1,309,572

附属明細書

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

1. 特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	672,000	652,400	0	0	1,324,400

財産目録

令和 8年 2月28日現在

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金 預金	手元保管	運転資金として	8,873
	<振替預金>		4,838,740
	ゆうちょ銀行	運転資金として	4,831,290
	根津支店		
	ゆうちょ銀行	運転資金として	7,450
	根津支店		
	<普通預金>		18,016,396
	みずほ銀行根津支店	運転資金として	13,321,729
	三井住友銀行	運転資金として	722,663
	白山支店		
	三菱UFJ銀行	運転資金として	1,224,617
	千駄木支店		
	みずほ銀行根津支店	運転資金として	2,747,387
	未収会費		3,484,800
	正会員	当年度会費の未収分	3,147,200
シニア会員	当年度会費の未収分	122,600	
学生会員	当年度会費の未収分	215,000	
その他	広告等未収分	617,727	
未収金	その他	240,224	
前払金	その他	431,701	
前払費用	その他	4,153,300	
預け金	クレジット	未入金分	3,874,100
	コンビニ	未入金分	279,200
流動資産合計			31,791,761
(固定資産)			
特定資産			
退職給付引当資産	みずほ銀行 横山町支店	職員の退職給付の給付に備えるために積立資産として管理されている預金	1,324,400
名簿作成準備積立金資産	三菱UFJ銀行 千駄木支店	名簿作成のための積立資産	500,000
国際協力積立金資産	三菱UFJ銀行 千駄木支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究・普及啓発事業で使用している	15,000,000
表彰事業積立金資産	みずほ銀行 根津支店	表彰事業のための積立資産	4,200,000
〇A化積立金資産	三井住友銀行 白山支店	備品等の〇A化のための積立資産	7,070,000
〇R事典積立金資産	みずほ銀行 根津支店	〇R事典のための積立資産	4,000,000
近藤賞基金引当資産	みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資産であり、研究・普及啓発事業の近藤賞のための積立資産	7,000,000
公益事業充当資産	みずほ銀行 根津支店 三菱UFJ銀行 千駄木支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究・普及啓発事業で使用している。	20,000,000
支部活動準備資産	みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資産であり、研究・普及啓発事業のための積立資産	13,500,000
企業事例交流会開催準備資産	みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資産であり、研究・普及啓発事業のための積立資産	4,000,000
リース資産	複合機他	共用財産であり、うち90%は公益目的保有財産として公益目的事業の用に供し、うち10%は管理運営の用に供している	1,309,572
ホームページ改修費用準備資産	三井住友銀行 白山支店	特定費用準備資産であり、研究・普及啓発事業のための積立資産	3,810,000
その他固定資産	保証金	事務所の保証金	950,400
固定資産合計			82,664,372
資産合計			114,456,133
(流動負債)			
未払金 未払費用 前受金	その他	経費等の未払分	286,663
	日本年金機構他	社会保険料他	505,016
	正会員	入会金の前受分	4,885,919
	学生会員	入会金の前受分	10,500
	会員等	翌年度シンポジウム参加費他	1,800
	会員等	翌年度春季研究発表会参加費他	768,119
	前受会費	正会員会費の前受分	4,105,500
	学生会員	学生会員会費の前受分	14,230,900
	賛助会員A	賛助会員会費の前受分	10,282,300
	賛助会員B	賛助会員会費の前受分	200,000
	シニア会員	賛助会員会費の前受分	2,755,000
	預り金	シニア会員会費の前受分	720,000
	職員等	職員の源泉所得税の預り分	273,600
	年金事務所	職員の健康保険料預り分	213,815
	年金事務所	職員の厚生年金預り分	20,168
講師等	講師謝金の源泉税預り分	54,385	
公認会計士等	会計士事務所の源泉税預り分	94,336	
未払消費税等	税務署	消費税の支払額	34,207
			10,719
			537,100
流動負債合計			20,659,413
(固定負債)			
退職給付引当金	職員	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,324,400
リース債務	リース会社	リース債務の支払残高	1,617,159
固定負債合計			2,941,559
負債合計			23,600,972
正味財産			90,855,161

監査報告

2026年4月3日

公益社団法人

日本オペレーションズ・リサーチ学会

会長 山上 伸 殿

公益社団法人

日本オペレーションズ・リサーチ学会

監事 河東 晴子 

監事 今堀 慎治 

私監事は、2025年3月1日から2026年2月28日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。さらに、アダムズ/堀井公認会計士事務所と連携し会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表（内訳表を含む）、正味財産増減計算書（内訳表を含む）、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

「2026-2027 年度新役員承認」の件

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第63条第1項並びに定款第13条第2号、第18条第3項及び第21条に基づき、理事及び監事の選任を願う。

なお、本改選より、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第15号及び第16号の適用を受けるが、第15号で導入された外部理事は非改選及び候補者の複数人にて、第16号で導入された外部監事は候補者にて、充足される。

理事／監事	候補者	
理事	吉瀬 章子	筑波大学
理事	大城 直人	GRANESPIGA
理事	矢野 夏子	(株)構造計画研究所
理事	野本 多津	(株)日立製作所
理事	土肥 正	広島大学
理事	小林 隆史	立正大学
理事	檀 寛成	早稲田大学
理事	山下 倫央	北海道大学
監事	梅谷 俊治	(株)リクルート

(参考)役員および役員候補者の担当会務

役職	定数	2024～2025 年度役員 改選		2025～2026 年度役員 非改選		2026～2027 年度役員 候補者		
会長	1(1)	山上 伸	東京ガス(株)			吉瀬 章子	筑波大学	
副会長	3(1)			渡辺 隆裕	東京都立大学			
				米沢 隆	日本アイ・ビー・エム(株)			
		猿渡 康文	筑波大学			大城 直人	GRANESPIGA	
庶務	2(1)			宮代 隆平	東京農工大学			
		黒木 裕介	ヤマト運輸(株)			矢野 夏子	(株)構造計画研究所	
国際	1(0)			八木 恭子	東京都立大学	2026 年度より涉外へ名称変更		
研究普及	2(1)			成島 康史	慶應義塾大学			
		山田 裕通	(株)構造計画研究所			野本 多津	(株)日立製作所	
編集	2(1)	牧野 和久	京都大学			土肥 正	広島大学	
				廣津 信義	順天堂大学			
会計	1(1)	塩野 直志	専修大学			小林 隆史	立正大学	
涉外	-	塩田 茂雄	千葉大学			2026 年度より国際に吸収		
広報	1(1)	田中 未来	統計数理研究所			檀 寛成	早稲田大学	
支部	1(0)			笠原 正治	奈良先端科学技術大学院大学			
大会	2(1)	岡村 寛之	広島大学			山下 倫央	北海道大学	
				山下 信雄	京都大学			
無任所	2(0)	2025 年度までは定数 1 名以内						
監事	2(1)	河東 晴子	三菱電機(株)			梅谷 俊治	(株)リクルート	
				今堀 慎治	中央大学			

※定数の()内は、改選数を内数にて示す。

※上記候補者は、役員規程(定款細則 2-1-2)に基づき、分担する会務ごとに推薦された結果を示すものである。

代表理事は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 90 条第 3 項に則り、理事会において選定される。

定款及び役員報酬等及び費用に関する規程改訂の件

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の改正（令和7年4月1日施行）により、

- 号番号が繰り下がったことに対応するため、定款の一部を改訂したい
- 号番号が繰り下がったことに対応するため及び公表の義務が解除されたことに追随するため、役員報酬等及び費用に関する規程（定款細則2-1-3）の一部を改訂したい

上記2点につき承認願う。詳細の新旧対応表は下記のとおりである。

記

1. 定款

新旧対応表

新	旧
<p>(公益認定の取消し等に伴う贈与)</p> <p>第40条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消の日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「認定法」という。）第5条第20号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。</p> <p>(残余財産の帰属)</p> <p>第41条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、国若しくは地方公共団体又は認定法第5条第20号に掲げる法人であって租税特別措置法第40条第1項に規定する公益法</p>	<p>(公益認定の取消し等に伴う贈与)</p> <p>第40条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消の日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律_____第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。</p> <p>(残余財産の帰属)</p> <p>第41条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、国若しくは地方公共団体又は認定法第5条第17号に掲げる法人であって租税特別措置法第40条第1項に規定する公益法</p>

<p>(改廃) <u>第5条</u> (略)</p>	<p>(改廃) <u>第6条</u> (略)</p>
<p><u>附則</u> <u>1</u> この規程は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会としての登記の日より施行する。 <u>2</u> この規程は、<u>2026年4月24日一部改訂した(認定法の改正(令和7年4月1日施行)への対応、その他細かい字句の修正)。</u></p>	<p><u>附則</u> <u>1</u> この規程は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会としての登記の日より施行する。</p>

以上

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2026 年度事業計画書

事業番号: 公1(1本のみ)

事業の内容: オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会、シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会、シンポジウム、OR セミナー、企業事例交流会等の活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2026 年度計画

1 大会(研究発表会・シンポジウム)

◇春季大会:2026 年 3 月 4~6 日 麗澤大学

実行委員長 大澤 義明(麗澤大学)

◇秋季大会:2026 年 9 月 9~11 日 京都大学

実行委員長 山下 信雄(京都大学)

2 OR セミナー

年間 3 回開催

第 1 回 OR セミナー

- 開催日 : 2026 年 6 月頃
- タイトル : 未定
- コーディネータ : 高澤 兼二郎(法政大学)
- オーガナイザ : 山口 勇太郎(大阪大学)

第 2 回 OR セミナー

- 開催日 : 2026 年 10 月頃
- タイトル : 未定
- コーディネータ : 未定
- オーガナイザ : 未定

第 3 回 OR セミナー

- 開催日 : 2026 年 12 月頃
- タイトル : 未定
- コーディネータ : 未定
- オーガナイザ : 未定

3 企業事例交流会

◇春季大会において開催:2026 年 3 月 5 日 麗澤大学

◇秋季大会において開催:2026 年 9 月 10 日~11 日 京都大学

4 会員ネットワーク

5 OR学会コンペティション

【機関誌、論文誌の刊行】

□事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2026年度計画

1 機関誌

◇発行回数：毎月1回 年12回

◇発行号：71巻3号～72巻2号

2 論文誌

・Journal of the Operations Research Society of Japan (英文論文誌)

◇発行回数：年4回

◇発行号：69巻2号～70巻1号

・Transactions of the Operations Research Society of Japan (和文論文誌)

◇発行回数：年1回

◇発行号：69巻

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

調査研究にあたっては、専門の研究部会を設置し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行う。

□2026年度計画

〈常設部会〉

A	常設部会名	主査	幹事
1	待ち行列	増山 博之 (東京都立大学)	佐久間 大 (防衛大学校) 小林 正弘 (東海大学)
2	数理計画(RAMP)	岩田 覚 (東京大学)	福田 エレン 秀美 (京都大学)
3	評価のOR	伊豆永 洋一 (九州大学)	王 緒 (群馬大学)
4	意思決定法	法雲 俊栄 (同志社大学)	飯田 洋市 (公立諏訪東京理科大学)
5	サプライチェーン戦略	原岡 哲也 (日本郵船株式会社)	山中 寿登 (株式会社構造計画研究所)

〈研究部会〉

B	部会名	主査	幹事
1	確率最適化とその応用	堀口 正之 (神奈川大学)	王 琦 (長崎総合科学大学)

2	信頼性の理論と応用	水谷 聡志 (愛知工業大学)	岡村 寛之 (広島大学) 今泉 充啓 (愛知学泉大学) 木村 充位 (愛知大学)
3	カーボンニュートラルに向けたエネルギーと OR	進士 誉夫 (ベスタス・ジャパン株式会社)	池上 貴志 (東京農工大学)
4	社会安全と OR	佐久間 大 (防衛大学校)	鶴飼 孝盛 (防衛大学校)
5	ビッグデータを用いたマーケティング分析	朝日 弓未 (東京理科大学)	横山 暁 (青山学院大学) 大竹 恒平 (上智大学)
6	歩行からみた空間設計と OR	田中 健一 (慶應義塾大学)	長谷川 大輔 (東京大学)
7	最適化のモデリングとアルゴリズム	河瀬 康志 (東京大学)	柳下 翔太郎 (統計数理研究所) 久米 啓太 (東京科学大学)
8	厚生と医療の OR	土谷 隆 (政策研究大学院大学)	伊藤 真理 (神戸大学) 伊藤 和哉 (東京理科大学)

〈研究グループ〉

C	グループ名	主 査	幹 事
1	未来都市の OR	三浦 英俊 (南山大学)	欧陽 君顔 (麗澤大学)

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2026 年度計画

〈春季表彰〉 1 月末までに審査・承認予定

- | | |
|-------|-------|
| 1 業績賞 | 1 件予定 |
| 2 普及賞 | 2 件予定 |
| 3 実施賞 | 2 件予定 |

〈秋季表彰〉 7 月末までに審査・承認予定

- | | |
|----------|---------|
| 1 研究賞 | 1 件予定 |
| 2 研究賞奨励賞 | 3 件程度予定 |
| 3 事例研究賞 | 3 件程度予定 |
| 4 論文賞 | 1 件予定 |
| 5 学生論文賞 | 5 件程度予定 |

以上

収 支 予 算 書

令和8年3月1日から令和9年2月28日まで

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1	小 計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	1,500	1,500	0	0	1,500
受取利息	1,500	1,500	0	0	1,500
受取入会金	66,000	66,000	45,000	0	111,000
受取正会員入会金収入	30,000	30,000	45,000	0	75,000
受取学生会員入会金収入	36,000	36,000	0	0	36,000
受取会費	22,273,000	22,273,000	4,602,000	0	26,875,000
正会員受取会費収入	14,550,000	14,550,000	4,602,000	0	19,152,000
学生会員受取会費収入	725,000	725,000	0	0	725,000
賛助会員受取会費収入	6,566,000	6,566,000	0	0	6,566,000
シニア会員受取会費収入	432,000	432,000	0	0	432,000
事業収益	16,780,000	16,780,000	0	0	16,780,000
受取販売収益	2,300,000	2,300,000	0	0	2,300,000
受取研究発表参加収入	4,500,000	4,500,000	0	0	4,500,000
受取参加料	5,800,000	5,800,000	0	0	5,800,000
受取広告料	3,300,000	3,300,000	0	0	3,300,000
受取掲載料	100,000	100,000	0	0	100,000
受取著作権料	130,000	130,000	0	0	130,000
受取購読料	650,000	650,000	0	0	650,000
雑収益（受取利息）	108,000	108,000	0	0	108,000
経常収益計	39,228,500	39,228,500	4,647,000	0	43,875,500
(2) 経常費用					
事業費	44,124,000	44,124,000		0	44,124,000
給与手当	6,110,000	6,110,000		0	6,110,000
賞与	1,854,000	1,854,000		0	1,854,000
臨時雇用金	891,000	891,000		0	891,000
法定福利費	1,100,000	1,100,000		0	1,100,000
福利厚生費	20,000	20,000		0	20,000
旅費交通費	2,000,000	2,000,000		0	2,000,000
通信運搬費	1,000,000	1,000,000		0	1,000,000

退職給付費用	324,000	324,000		0	324,000
消耗品費	1,000,000	1,000,000		0	1,000,000
会議費	5,500,000	5,500,000		0	5,500,000
印刷製本費	6,500,000	6,500,000		0	6,500,000
賃借料	2,800,000	2,800,000		0	2,800,000
保険料	15,000	15,000		0	15,000
広告宣伝費	4,050,000	4,050,000		0	4,050,000
租税公課	450,000	450,000		0	450,000
支払負担金	260,000	260,000		0	260,000
諸謝金	4,000,000	4,000,000		0	4,000,000
委託費	2,600,000	2,600,000		0	2,600,000
支払手数料	2,800,000	2,800,000		0	2,800,000
減価償却費	440,000	440,000		0	440,000
貸倒損失	400,000	400,000		0	400,000
雑費	10,000	10,000		0	10,000
管理費			4,647,000	0	4,647,000
給与手当			679,000	0	679,000
賞与			206,000	0	206,000
臨時雇用金			99,000	0	99,000
法定福利費			130,000	0	130,000
福利厚生費			5,000	0	5,000
旅費交通費			800,000	0	800,000
通信運搬費			50,000	0	50,000
退職給付費用			36,000	0	36,000
消耗品費			30,000	0	30,000
会議費			10,000	0	10,000
賃借料			290,000	0	290,000
広告宣伝費			450,000	0	450,000
保険料			2,000	0	2,000
租税公課			20,000	0	20,000
水道光熱費			200,000	0	200,000
支払手数料			160,000	0	160,000
支払報酬料			870,000	0	870,000
諸会費			50,000	0	50,000
減価償却費			50,000	0	50,000
貸倒損失			500,000	0	500,000
雑費			10,000	0	10,000
経常費用計	44,124,000	44,124,000	4,647,000	0	48,771,000

評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,895,500	△ 4,895,500	0	0	△ 4,895,500
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,895,500	△ 4,895,500	0	0	△ 4,895,500
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 4,895,500	△ 4,895,500	0	0	△ 4,895,500
当期一般正味財産増減額	△ 4,895,500	△ 4,895,500	0	0	△ 4,895,500
一般正味財産期首残高	7,507,117	7,507,117	76,132,930	0	83,640,047
一般正味財産期末残高	2,611,617	2,611,617	76,132,930	0	78,744,547
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
III 正味財産期末残高	7,611,617	7,611,617	76,132,930	0	83,744,547